

いよいよ新年度スタート

～新たな出会いに感謝して～

4月8日(月)、チューリップやパンジーなど色とりどりの花が、登校してきた子どもたちをやさしく迎えています。いよいよ新年度の始まりです。今年度は、1年生を入れると、全校児童21名、職員は12名でのスタートとなります。

始業式で、初めて子どもたちと対面。私の話を、背筋をピンと伸ばし視線を私に向け、しっかりお話を聴いています。人の話を聴く姿勢は、実に素晴らしいものがあります。また、これまでの子どもたちの様子を職員に伺うと、先生に言われたことはきちんと取り組むことができる子どもたちとのことです。素晴らしい素地ができています。



このような子どもたちの姿を受け、今年度の学校教育目標を以下のようにいたしました。

**ふるさとを愛し、進んで考え行動する
笑顔輝く大田っ子の育成**

そして、『きづく子・かしこい子・やさしい子・たくましい子』という4つの子ども像を据えました。

一つ目の『きづく子』は、ふるさと大田を見つめ、地域の人や地域に息づく伝統・文化のよさに気づき、進んで大切にする姿を。

二つ目の『かしこい子』は、自分の考えをしっかりと持ち、進んで学ぶ姿を。

三つ目の『やさしい子』は、自分や友達の思いを大切にしながら、進んで関わるやさしい姿を。

四つ目の『たくましい子』は、進んでチャレンジし、課題を解決しようとするたくましい姿を、それぞれめざしてまいります。

そこで、特に力点として、学校教育目標に掲げた『進んで』の文言が示すように、何事にも主体的に取り組む子どもたちの姿を大切にしたいと思います。

先行きが不透明で変化の激しい社会を生きる子どもたちには、自ら課題を見つけ、困難に立ち向かいながらも主体的に取り組む、解決していこうとする力を、小学校段階から身につけていってほしいと願います。

これから1年間、めざす子どもの育成に向け、教職員一丸となって努めてまいります。保護者の皆様、そして地域の皆様、これまで同様、引き続き温かいご支援・ご協力の程、お願い申し上げます。

入学式に向けて～進んで練習を～

2～6年生が体育館で入学式練習に取り組んでいます。椅子に姿勢よく座っている姿やきびきびした態度で起立・

着席する姿、呼びかけでの大きな声は、たいへん素晴らしいものです。

1年生へのお祝いの歌“ドキドキドン！1年生”の練習時のことです。1番は子どもたち全員がしっかり声を出し歌っています。ところが、2番・3番となると、声が途切れる場面が何度か見受けられました。

練習の終わりに、子どもたちが感想を発表しました。すると、何人もの子どもたちが、「歌の歌詞を覚えていなかったので、明日の練習までにちゃんと覚えたいです」との声。

子どもたちの言葉を受け、その後の校長の話の中で、「いつ、どこで覚えるのですか？」と尋ねてみました。すると、「家に帰って覚えてきます！」との返答。

さて、翌日の練習。子どもたちに「家で覚えてきた人は手をあげてごらん」と尋ねてみました。すると、何人もの手が挙がります。子どもたち自ら課題を見つけ、解決方法を考え、実践しています。自分で決めたことをきちんと実行した子どもたちです。大変頼もしく、まさに学校教育目標にある進んで考え行動する姿の一端が伺え、これからの成長がますます楽しみです。

子どもを信じ、待つ姿勢を・・・

～我々教職員も成長できる1年に～

校舎内には、入学式に向けて至る所に飾りがつけられています。ところが、階段途中の輪飾りが取れかかっています。

そこで、子どもたちに次のようにお話ししました。「校長先生が飾りをよくしようと思ったのだけど、もしかしたら、みんなの中に気づいてよくしてくれる人がいるかもしれないので、校長先生はそのままにしておきました」

その後は、子どもたちを信じ、任せ、待つことにしました。



後日、取れかかっていた輪飾りの様子を見に行くと、元通りにきれいになっています。どうやら6年生がよくしてくれたようです。さすが大田っ子だと大変うれしく思いました。

「〇〇の飾りをよくしておいてね」と指示すれば、子どもたちはきちんと元通りにしてくれることでしょうか。しかし、「自ら気づき、進んでよくしてくれる」そんな子どもたちになってほしいものです。そのためには、まずは、我々教職員自身の、子どもたちを“信じ”“任せ”“待つ”姿勢が必要です。

教師という職業柄、ついつい指示しがちになってしまいます。自分の子どもへの声かけの仕方を振り返り、子どもの成長につながるよりよい声かけを模索するとともに、“信じ”“任せ”“待つ”姿勢を忘れず、我々教職員も大きく成長できる1年間にしたいと思います。